

主 出 来 事

2014年7～9月

	三重・愛知	全国・海外
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●熊野古道が世界遺産登録から10周年を迎え、熊野市木元町の市民会館で記念式典を開催。〈7/6〉 ●鳥羽市が建設中の農水産物直売所「鳥羽マルシェ」がプレオープン。農協と漁協が運営を担当しており、10/14に本オープンとなる予定。〈7/12〉 ●住友商事が半田市にバイオマス発電所を建設すると発表。2016年中の運転開始を目指しており、7.5キロワットのバイオマス発電所は国内最大。〈7/14〉 ●国の地域活性化モデル事業として、いなべ市の「グリーンツーリズムの推進に向けた地域の拠点づくり」が選定。〈7/24〉 ●平成26年度「地（知）の拠点整備事業」において、愛知県の日本福祉大学、三重県の日市大学、皇學館大学の事業が選定。〈7/25〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●国税庁が発表した2014年分の路線価は、愛知県を含む6都府県で前年比上昇。全国平均では前年比0.7%下落となったものの、マイナス幅は縮小。〈7/1〉 ●教育事業大手ベネッセホールディングスが顧客情報の流出を発表。派遣従業員が不正にデータを持ち出し。〈7/9〉 ●ウクライナ東部のロシア国境近くでマレーシア航空機が墜落し、乗客乗員298名全員が死亡。〈7/17〉 ●東京証券取引所は、取引が活発な一部の大企業株式につき、取引単位を1円単位から10銭または50銭単位に変更。〈7/22〉 ●中央最低賃金審議会小委員会は、最低賃金の引き上げを決定。最低賃金で働いた場合の収入が生活保護給付を下回る「逆転現象」が全都道府県で解消。〈7/29〉
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●大手旅行会社エイチ・アイ・エスが、蒲郡市のリゾート施設「ラグーナ蒲郡」の主要3事業を5億円で取得。テーマパークや商業施設の運営事業を承継。〈8/1〉 ●台風11号の影響で三重県で猛烈な雨が降り、県全域に初の大雨特別警報が発令。四日市市、鈴鹿市では市内全域に避難指示も。〈8/9〉 ●第96回全国高校野球選手権大会で三重高校が三重県勢としては59年ぶりに決勝進出。決勝で大阪桐蔭高校に敗れ準優勝。〈8/25〉 ●鈴木英敬三重県知事が米国訪問。ワシントン州シアトル市およびテキサス州サンアントニオ市にて交流・連携を深めるための覚書、基本合意書を締結。〈8/26-29〉 ●パナソニックが松阪工場の事業活動を2015年3月までに停止すると発表。同工場の機能は国内他拠点への移転を予定。〈8/29〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●西アフリカのギニアなどで感染が拡大しているエボラ出血熱について、世界保健機関（WHO）が「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を宣言。〈8/8〉 ●米軍がイラク北部でイスラム過激派「イスラム国」に対する空爆作戦を実行。イラク空爆は2011年の米軍撤退以来初めて。〈8/8〉 ●広島県広島市北部で局地的な豪雨により住宅街を中心に多くの大規模土砂災害が発生。死者は74名に。〈8/20〉 ●戦後初となるデング熱の国内感染が確認。東京都渋谷区の代々木公園の蚊からウイルスが検出され、感染者は全国で100名以上に拡大。〈8/27〉 ●2015年度の予算編成に向けた各省庁の概算要求が出揃い、総額が初めて100兆円の台を突破。高齢化が進んだことにより社会保障給付費が大幅に増加。〈8/29〉
9月	<p>フォーカス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東芝四日市工場で第5製造棟（第2期分）が竣工、新・第2製造棟が起工。今後も四日市工場を中心に半導体事業への投資を続ける方針を表明。〈9/9〉 ●鈴木英敬三重県知事がインドを訪問し、南部カルナタカ州政府と産業振興に関する覚書を締結。同州と日本の自治体が覚書を締結するのは全国初。〈9/9〉 ●大村秀章愛知県知事がタイを訪問し、愛知県とタイ工業省の経済連携の推進を目的とする覚書を締結。〈9/10〉 ●松阪市と三越伊勢丹ホールディングスが連携協定を締結。三越発祥の地として、松阪市への中小型店舗の出店も検討。〈9/13〉 ●国土交通省が7月1日時点の都道府県別の地価（基準地価）を発表。全国平均では下落となったものの、名古屋圏は商業地、住宅地ともに上昇。〈9/18〉 	<ul style="list-style-type: none"> ●第2次安倍内閣が発足。地方創生を掲げるとともに、女性の活躍推進を打ち出し、女性閣僚を積極起用。女性閣僚は5人と、第1次小泉内閣と並び過去最多。〈9/3〉 ●欧州中央銀行（ECB）が追加緩和を発表。主要政策金利の更なる引き下げのほか、銀行が持つ債権を証券化した資産担保証券（ABS）の買い入れも決定。〈9/4〉 ●米連邦準備制度理事会（FRB）が連邦公開市場委員会（FOMC）において、現在の量的緩和策を10月に終了することを決定。〈9/17〉 ●スコットランドでイギリスからの独立を問う住民投票を実施。独立反対派が55.3%と過半数を超え、イギリス分裂は回避。〈9/19〉 ●長野と岐阜の県境にある御嶽山が噴火。噴石などによる死者・けがが多数。〈9/27〉

フォーカス

東芝 四日市工場で第5製造棟（第2期分）が竣工、新・第2製造棟が起工

9月9日、NAND型フラッシュメモリの生産拠点である東芝四日市工場の第5製造棟（第2期分）が竣工しました。昨年8月から米サンディスクと共同で拡張工事を進めていたもので、床面積は187,000㎡と従来の2倍に拡大しており、生産能力が増強されました。

さらに同日、新・第2製造棟の起工式が行われました。東芝は2014年度以降も半導体事業に毎年2千億円規模の設備投資を行う方針を表明しています。新・第2製造棟には、大容量化を実現した3次元構造を持つメモリの専用設備が導入され、2016年前半に全体が竣工する予定です。